

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公表番号】特表2002-523628(P2002-523628A)

【公表日】平成14年7月30日(2002.7.30)

【出願番号】特願2000-567315(P2000-567315)

【国際特許分類】

C 2 3 C 28/00 (2006.01)

B 3 2 B 15/04 (2006.01)

B 3 2 B 17/06 (2006.01)

C 2 3 C 18/16 (2006.01)

C 2 3 C 18/31 (2006.01)

C 2 3 C 18/42 (2006.01)

【F I】

C 2 3 C 28/00 B

C 2 3 C 28/00 D

B 3 2 B 15/04 B

B 3 2 B 17/06

C 2 3 C 18/16 Z

C 2 3 C 18/31 A

C 2 3 C 18/42

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年10月28日(2008.10.28)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ガラス基板および該ガラス基板上の反射金属フィルム層を含む鏡の製法であって、

ガラス基板を供給し；

該ガラス基板を感受化させ；

該ガラス基板上に銀層を被覆し；

該銀被覆ガラス基板を、特定カチオンを含有する酸性液及び特定アニオンまたは、ヒドロキシルイオンを生成するアルカリ性物質を含有するアルカリ性液と、該二液が該銀面では会合し、該特定カチオンおよび特定アニオンまたはヒドロキシルイオンが反応して該銀面上に水不溶性沈殿物を形成し、そして該沈殿物が該銀層の耐食性を高めるように、該両液流をスプレーまたは他の方法で注ぐことによって接触させることを含む方法。

【請求項2】 該酸性液の特定カチオンが  $\text{Sn}^{2+}$ 、 $\text{Sn}^{4+}$ 、 $\text{Bi}^{3+}$ 、 $\text{Ag}^{+}$ 、 $\text{Zn}^{2+}$ 、 $\text{Pb}^{2+}$ 、 $\text{Ce}^{3+}$ 、 $\text{Al}^{3+}$ 、 $\text{Fe}^{2+}$ 、 $\text{In}^{3+}$ 、 $\text{Ti}^{3+}$ 及び $\text{La}^{3+}$ からなる群から選ばれる請求項1記載の方法。

【請求項3】 該アルカリ性液の特定アニオンがヒドロキシルイオンを生成する  $\text{OH}^{-}$ 、 $\text{CO}_3^{2-}$ 、 $\text{HPO}_3^{2-}$ 、 $\text{SiO}_3^{2-}$ 、 $\text{B}_4\text{O}_7^{2-}$ 及び $\text{BO}_2^{-}$ アルカリ性物質からなる群から選ばれる請求項2記載の方法。

【請求項4】 該酸性液が  $\text{SnCl}_2$ もしくは $\text{SnF}_2$ 単独または、 $\text{HCl}$ もしくは $\text{H}_2\text{SO}_4$ で酸性にされた $\text{SnCl}_2$ または $\text{SnF}_2$ である請求項3記載の方法。

【請求項 5】 該アルカリ性液が  $\text{NaOH}$  または  $\text{NH}_4\text{OH}$  である請求項 4 記載の方法。

【請求項 6】 該酸性液及びアルカリ性液が同時に該銀面に接触する請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】 該酸性液またはアルカリ性液がまず該銀面に接触した後該もう一方の液と接触する請求項 1 記載の方法。

【請求項 8】 請求項 1 記載の方法によって製造される鏡。

【請求項 9】 請求項 3 記載の方法によって製造される鏡。

【請求項 10】 請求項 5 記載の方法によって製造される鏡。

【請求項 11】 請求項 6 記載の方法によって製造される鏡。

【請求項 12】 請求項 7 記載の方法によって製造される鏡。

【請求項 13】 銀面の耐食性を高める方法であって、

該銀面を、特定カチオンを含有する酸性液及び特定アニオンまたは、ヒドロキシルイオンを生成するアルカリ性物質を含有するアルカリ性液と接触させ、該特定カチオン及び特定アニオンまたはヒドロキシルイオンが反応して該銀面上に水不溶性沈殿物を形成することを含む方法。

【請求項 14】 該銀面が、ガラス基板を有する鏡の反射層である請求項 13 記載の方法。

【請求項 15】 該酸性液がスズイオンを含む請求項 14 記載の方法。

【請求項 16】 該アルカリ性液が  $\text{OH}^-$  イオンを含む請求項 15 記載の方法。

【請求項 17】 請求項 13 記載の方法によって製造される鏡。

【請求項 18】 請求項 16 記載の方法によって製造される鏡。

【請求項 19】 鏡を製造する装置であって、

ガラスシートを移動させる手段；

該ガラスシートを洗浄して、油、グリース、粉末、介在物等を除く手段；

該洗浄したガラスシートを感受化させて銀の付着を助長させる手段；

該感受化ガラス面上に銀層を適用する手段；

該銀被覆ガラス面を、特定カチオンを含有する酸性液及び特定アニオンまたは、ヒドロキシルイオンを生成するアルカリ性物質を含有するアルカリ性液と該銀面において接触させ、該特定カチオンイオン及び特定アニオンまたはヒドロキシルイオンが反応して該銀面上に水不溶性反応生成沈殿物を形成する手段；および

任意に該沈殿物上に他の保護層を塗布又は適用して該鏡製品を生成させる手段を含む装置。

【請求項 20】 該酸性液またはアルカリ性液がまず該銀面に接触した後該もう一方の液と接触する請求項 19 記載の装置。